



令和4年7月号

少しだけ優しい気持ちになる為の処方箋

私は、子どもの頃から本が好きで常に何かを読んでいた。本であれば何でも良くて、小説などの活字から漫画までジャンルを問わずに読んでおり、何もない時には教科書を読んで満足をしている子どもでした。

本からは、知識だけではなく、そこから深く考える事や新たな気づきに繋がる事も多く、自分自身の世界を広げてくれた様な気がします。今では、時間を取ってゆっくりと本を読む事は少なくなってしまったのですが、スマホやパソコンでも様々な本や文章に触れられるので便利な世の中になっていますね。

今回は、私の心が疲れてしまった時や気持ちを切り替えたい時に、読む漫画を2作品紹介したいと思います。

「ぼのぼの」

1986年から連載が始まり今も続いている長寿作品です。アニメ化もされており見た事がある方もいるかもしれません。ぼのぼの（ラッコ）を中心とした4コマ漫画なのですが、森の動物たちの日常をゆるーく描いている漫画です。子ども向けの画風ではあるのですが、内容やぼのぼのたちの会話は、単純ながらも考えさせられる言葉に溢れています。

私のお気に入りにはアライグマくんで、少し乱暴な所もありますが、時々出てくる端的に本質を突く言葉は「そんな考え方も有りなのだ」と感じさせてくれます。

「町田くんの世界」

主人公の町田くんは平凡な男子高校生なのですが、とにかく人が好きで優しい男の子です。ストーリーとしては町田くんの日常を描く作品なのですが、その時々で町田くんが発する言葉の一つ一つが、深い人間愛を感じさせる内容になっています。実際に言葉にすると恥ずかしさを感じてしまうかもしれない言葉を、町田くんは真面目に真剣に言葉として紡いでいく姿は純粋に素敵だなと感じます。

2022年も折り返しが過ぎてしまい、月日が経つ事が凄く早く感じてしまいます。この半年の中でも様々なニュースがあり、どうしても暗い話題に気持ちが引っ張られてしまう事も多くなりました。社会や世界に対して「より良くなる」様に望みながらも、そうならない現実に関心自身自身の無力さを感じる事もあります。

日常の中でも、上手く行かない事が重なった時に苛立ちを感じたり、モヤモヤした時に読むと、それぞれのキャラクターの言葉が心に染みて、ちょっとだけ優しい気持ちになる事が出来ています。

児童通所課 嵯峨憲司



6月 活動報告

木曜日：お金プログラム

お店の選び方やお金の計算を座学で練習したり、
買い物のロールプレイをしたりしています。
後半の週にはお店に行ってお買い物してきました。

「お菓子のまちおか」
でお買い物！



お金の種類を勉強中



ロールプレイで練習



水曜日：作業プログラム

作業プログラムでは紙の折り方を行いました。
手順書を見ながら、折り合わせる端を意識して
あじさいを折りあげることができました。

作り方を見ながら
折っていきます



土曜日プログラム

6月25日（土）に公共交通機関を使用し、志望する高校
までの道のりや自宅からMJまでの道のりを確認しました。



道のりや乗り場の再確認中

